明治三十二年三月二十五日印刷
明治三十二年三月二十七日發行

婦人衛生雜誌

第百二十號

私立
大日本婦人衛生會

大日本婦人衛生雜誌
第百十二號
目次

大日本婦人衛生雜誌
第百十一號
目次

會告

本月十一日本會總集會に於て規則改正の結果學生會費一ヶ月金七錢に增額來四月一日より施行致し候間此段御了承相成度候也

追而改正規則及本支會役員會員姓名等本誌末欄に掲載致し御一覽に供し候也

明治三十二年三月二十日

私立大日本婦人衛生會

大日本婦人衛生雜誌第百十二號

（明治三十二年三月廿七日發行）

講演

●休みの話（明治三十一年一月例會於小石川區役所）

醫學博士　三宅秀君演説

私は演題未定と致して置きましたが、今日は「休みの話」と云ふ事を御話しやうと思ひます、全躰衛生と云ふことは何う云ふ事であるかと云ふに、我々が身躰を遣ひまするのに、丁寧に手置き好く遣ひまして、何時までも之を損せず長く働かれるやうにすると云ふことで有ります、ソレ故に身躰の使ひ方に就ての方法を御話するのが、即ち衛生會の本趣意で有らうと思ひます。

總て如何なる物でも之を使ひまする時分には休ませては使ひ、使ッては休ませると云ふやうな工合に、使ふ時と休む時とが無ければならむ、斷え間なく使ッてばかり居ッてはどの樣な堅牢無比なる器具でも、ソレだけ早く破損するのは當前の事である、衣服でも器具でも使へば必ず損するもの故必ず休ませなければならぬ。ソレと同じに、人間の身躰も使ふた後は必ず休ませなければ長く丈夫で働くことは出來ませぬ、其休まぬければならぬと云ふ理由を今日は御話致します。休みと云ふことは之をむずかしく云ふと勞働の反對、働いて疲勞したのを恢復するために休息するので、是非此休みと云ふことはなければならむ、然らば其休みと云ふことは何う云ふ事だと御問ひになッても最早休みと云ふより先きは和解して申しやうが無い

休みの話

ソコで人が働くことが餘計有れば、ソレに準じて休むことも餘計でなければならない筈で御座います、衞生の方から云ふと休みと云ふことは食物に亞ぐべき大切のものである、人間が活きて居りまするのには必ず食物が要ります。ソレと同じ樣に人間のからだが働きましたならば、必ず後で休まなければならない、休息は食物の如く人間のからだには大切のものであると衞生の方では申します、實に其通り働きました後は必ず空腹になッて何か食べたい心が起る又働きました後は休息したい心が出て參ります。又佛蘭西の諺に「休息は勞働の父母」と云ふ言が有りますが、誠に其言の如く休息致しまするから勞働と云ふ事が生れるので休息が無かッたら働くと云ふことは出來ないので有ります。ソレ故人間が働かうと思ッたら、前以て休息の父母が無ければ勞働の仕事を生み出すことは出來ない、ソコを以て休息は勞働の父母と云ふことを佛蘭西の人が申したので有りますが、是れは實に尤もなことで有ります。今日人間が晝から夜に繼いで一日働きまして其休息はいつ致しまするかならは、夜分に眠つて休息を致します。一週間の中に六日働きますると土曜日には半日休みがあッて、一週間の中働きました疲勞を癒す爲めに日曜日には一日休みまして、次の月曜日から充分働くことの出來るやうになッて居ります。ソコで此日曜日の御休みと云ふものは極く大切のもので有りまして、衞生上から言ひましても日曜日と云ふ休みが無かッたなら、身躰の爲めに宜くない、世の中には隨分慾張の人が有ッて只己れの慾心一方で、日曜でも土曜でも休まずに働く人が有

ります、ソレ故西洋では宗敎即ち基督敎の方で敎へまして、日曜日と云ふ日は極く尊い日と致して居る、神の命令で是非安息しなければならない………「サッパス」といッて安息の日に致してある、極く難有い日に致して有りまして、其日に働きますすると罰が的ると云ふ樣な工合に敎へて居りまする、今我々日本人の信じて居る宗敎は耶蘇敎ではない、………佛敎の方が多いが、併し基督敎の敎へに有りまする通りに、日曜日は難有い日で神樣の休めと命ぜられた日故、此日には休んで居らなければならない、何處までも日曜日は難有い日と信じて休ませる方が衞生上には適して居ります。今東京はかりではない、田舍の方に參りまするど三日といッて、朔日、十五日、二十八日の此三日には總ての職人などが職業を休んで遊ぶと云ふ樣になッて居る、併し此休みの日の割方は、廿八日若くは二十五日に休み、ソレから次の月の朔日に休む、此間の日數は少ないが、其次の休み日は十五日である、して見れは三日から十日迄働かなければならない、ソレから又十日乃至十三日働いて二十五日或は廿八日が休み日となッて、其休業日に長短の差が有るから衞生上から言ふと、矢張り西洋の樣に六日間働いて一日休む方が、からだの爲めに適當と思ひます。ソコで三日に業を休むと云ふことは、昔から仕來ッて之を日本では祝日として三日には赤飯を炊いて祝ひ、又は常に魚類に乏しき土地でも此日は特に魚を食べさせるとになッて居ります、ソレ程三日と云ふ日は尊い日の樣に致して是非人の信仰力を籍りて休ませる樣に致して居ります。又古來より仕來ッて居ります五節

休みの話

句、是れは私は誠に好い御休みと思ひます、節句と云ふ者を三日の外に置きまして一月三月五月七月九月の五節句と云ふものは、丁度記臆の仕易い様に、一月に元日、三月三日、五月五日、七月七日、九月九日と云ふやうにしてある是れも至極宜いが、只九月迄休みが有ッて、十月十一月十二月三ヶ月間には節句が有りませぬ、併ながら十一月と云ふ月は全躰の祝月にして十一月十五日は帯解袴着の祝をする、ソレ故一月から十二月迄の間隔月には必ず結構なる御休が有る様な仕組になッて居ります、是等の事を見ると昔の人の考へは餘程巧みなものであると思ひます。ソレから又正月の休みは日本流に致しますると、元日から休みまして少なくも七種まで七日間は休むやうになッて居る、西洋でも基督教の方から教へて十二月二十五日を一番難有い日に致しましてソレから後を「クリストマス」の休みとして、一月の一日まで八日間休んで居る、皆様如何でございます西洋の所謂「クリストマス」の休みは日本で言ふ正月の元日から七日迄休むと云ふのと偶然御休みの日數が略々合ッてある、只一方は基督降誕の日を難有い日としてソレを主として休み、一方は新玉の年の始めを祝をうと云ふ事を主として、元日より七日迄休んで居る、どうしても是れ位ゐの休み日は人間の働きまするのに必要である故、何處の國でも休日祝日と云ふものが當分に能く割りあてゝ有ります。

さて御話が元に戻ッて、人間の身躰は一ッの器具一ッの機械である、今之を一の大なる機械に譬へて見ますると、丁度蒸氣機關のやうなもので有ります、其蒸氣機關の中でも近頃では電氣が盛にな

ッて此處（會場）にも電氣燈の設けが有りますが、先此電氣燈の點くのを原からたづねて見ますると電燈會社で發電器械を動かしますると電氣が起ッて遠隔したる所に電燈の光輝を放ッ其機械の動く基は何であるかと云ふに、則ち石炭が要ります、則ち水を盛りたる釜の下で、石炭を焚きますと釜の水が沸騰して蒸氣力が起り、遠き處の此邊まで點火することができる今この室を明るくしやうとしますには、必ずどこか遠い處で電氣の仕掛を起さなければ此室が明るくならない、人間の身躰が動いて居りまするのは、身躰と云ふ一ッの機械が動きまするには食べる物を食べ、飲む物を飲み而して空氣と云ふ物を吸ふて居なければならないのであります。丁度電氣を起さうとする時分に釜の中に水を入れ、釜の下に石炭を入れ火を燃し、風を通して電氣を起すのと同じで、人の身躰だの動くにも飲食物空氣の呼吸等に因ッて初めて活動することが出來るので、是は極く大切のもので有ります、此三ッの事が揃はなければ人間のからだは動くことが出來ませぬ、ソコで空氣と云ふものは三品の中の尤も大切なるもので有ります、ソレ故眠りても覺めても常不斷空氣と云ふものは、始終吸ふて居らなければならない筈のものである、飲食物の事は一日に三度なれば三度食べれば宜い、農夫のやうな餘計勞働するものでも飲食物は一日四五遍食べれば充分である。然るに空氣は斷間なく吸ッて居らなければなりませぬ、皆樣は恐らくは斯う云ふことを御聞になるのは御始めてだらうと思ひますから殊更に御話をするが、人間か呼吸は少しも休むことは出來ない、晝夜間斷なく營み

而して身躰を余計に働かせるときは空氣をそれだけ餘計取る、人間のからだの動くのは空氣が鼻口より入りて身躰の中に這入て、酸化作用を營む、其作用に因ッて人間のからだも動くもの故、其働いて居る間は其酸化作用が烈しくなる、誠に人間のからだの構造と云ふものは好い工合になッて居ッて、眠ッて居る内は手足を動かしませぬら、酸化作用が少なく空氣の入用を儉約し而して空氣を吸ひ込むことは却て眠を覺めて居る時より三層倍も餘計てある、して見れば寤めては飲食物を食べ寢ては空氣を食べるものと云ッて宜い、皆樣は能く此眠ると起るとの二ッの作用を考へて下さい、ソレから段々引き言をすれば、晝居る室よりは夜中眠ッて居る室を廣くして清潔なる空氣の流通を能くして置かなければならないと云ふ道理が御解りになるので有りませうが今日は休みの話故眠るのが一番の休息時間てある、眠る時の方が空氣を餘計に吸ふものてあると云ふのが御話の本趣意故ソコて御話を止めて、室内の清潔とか、なんとか云ふことは今日は申しませぬ。ソレて休息と云ふ熟語は上に「ヤスム」と云ふ字と下に「イコウ」(息を繼く」と云ふ字を書いてある、之を見ても休む間は息を餘計しなければならない筈て有ります。

又此樣な下手な御噺しを私が長くして居ると、皆樣が退屈をなさる其時分には心中は休みたいと思召す其休みたいと云ふ念が心頭に浮ぶと、直ぐに欠伸が出る、ソレは即大きな息をするので、つまり空氣を澤山召上りたいと思召さるゝのてある、之を以ても休むときは息きを餘計するのであるといふことが解る。休むにはかならす息を澤山

にしなければ充分に休むことは出來ないと云ふのてある、空氣は人間に大切であるが、殊に休むときには餘計必要であると云ふことは御承知の御方が少からうと思ひますから一寸御話を致しました。

ソレからして食物の事でありますが、前に云ふ如く蒸氣を生するには炭を焚かなければならい、釜の中の水が次第に蒸發して減したら復注さなければならない、石炭も燃へてしまへば復入れなければならない、ソコで人間も働くとお腹が減ッて何か食べるか飲むかしなければならない、ソレて人間の身躰が丁度蒸氣の機械と同してあるといふことは大抵誰方にも御解りだらうと思ひます。而して一日の働きは夜分眠りまするると休めますが其間に日曜日のやうな大きな休みがある、なせさう大きな休みが要るかと云ふに、日曜日に休んだ明くる日の月曜日には働くことが餘計出來ますれども其翌火曜日には月曜日の如く能く働くことは出來ませぬ、其翌水曜日は尙働く力が減る、其次は尙減ると云ふ樣に、段々一週間の終になると日々働く力が減します假令每夜眠りまするから翌日は幾分か恢復はするが、迚も月曜日のやうには充分に往きませぬ故に一週間の末の土曜日は諸官省學校等も半日て退出する樣になッて居ります、此殘余の時間を働き續けてもソレだけの滿足な仕事が出來ませぬから、學校も役所も休むことになッてしまひます、ソレて日曜一日仕事を休んて勇氣を畜へまするから月曜日には始めて稽古する事てもなんても出來ると云ふことになッて居ります。或はなはソレても休みが足りませぬので夏季炎

休みの話

暑の時分は暑中休暇をなし、或は今申した冬季の休みが有ります、人間の身躰は食べて、飲んで、夜分眠ると此三ッが揃ッて居りますれば蒸氣機械の樣にいつまでも動いて居る。然らば食物と、安眠と、空氣と、水とが足ッて居ると人間の身躰は何時ても働くことが出來るものかと云ひまする決して爾うては御座いませぬ、人間の躰には、魂魄が這入て居ります、即精神と云ふものが這入て居ります、又心と云ふものがあります、而して其心が始終働いて居ります、只機械て手足を動かすのみならず、心が大へんに働いて居ります、少しも手足を働かしませんても心ばかりが働いて居るもの故此心を休めるのが大へんに必要てあります休息は唯手足を休めると云ふだけて宜いならば働かずに平臥して居れば宜いが、ソレよりは第一に心を休めることをしなければならぬ、此心を休めなければならぬと云ふことを御話しするには、機械に譬へても一寸分りませぬ、西洋ては能く之を護謨の紐に譬へます、護謨の紐をピンと張り詰めたのは則ち心を勞して居る時てある、言ひ換ふれば精神を使ッて居る時の狀態てある然るに若し之を休ますに永く引張り通しにして置くと、護謨が伸びて了ッて縮るめても再び縮まなくなります………是れは西洋て言ふ處の譬へ、私は今日は御婦人方の御集會故、衣服にたとへて御話しやうと思ふ、さうしたら却て早く御了解にならうと存じます。例えば御孃樣方が御用ゐになる緋の鹿の子絞のやうなものを持ッて來て、久しくピンと引張ッて置いたならば、如何てあるか、暫時の間ても引張りはなしにして置くと、今度は縮めても元の通りに

はなりませぬ、人間の心も始終使ッて居ッて、休めると云ふことが無ければ、固の姿に立戻ッては參らぬもので御座います、又常に着る處の衣服にしましても、絹布類の如きは、私のやうな肥ッた者が着ると、腹部腰部等が膨れていくら丁寧に使ふても切れ地が不斷引張れ居る故に地が忽ち薄くなるに從ッて瘦せた恰好の美き御方の召物より早く品が傷みます、其損すると云ふのは則ち切地が始終引張れて居る處を使うから弱るので、瘦せた方の御衣裳は布が張ッて居りませぬ綏んだ處で物に觸れて居るから、ソレだけ損しない道理で有ります、人の精神も同じ道理て、始終張ッて居ると損しが早いので有ります、此理を考ふれば、心を勞したる後は、必ず休めて復使ふと云うやふにしますると、いつまでも精神に疲勞を覺ゆることは有りませぬ、是れも一ッの例て有りますが、私共始終筆を遣ッて居るのに、三本の筆を置いて、交替に遣ッて居ると、朝から暮まで書いて居ッても格別痛みませぬが一本の筆を以て始めから終まて書いて居ると筆の穗細の損しまするとは三本遣ふ三分の一より餘程早く傷む又我々が靴を穿くにも、二足掛換えを置いて、一足を休めてかはる〴〵穿くやうにすると、一足を穿き終ッて、復新らしきを穿くと云ふやうにするよりは、餘程永く使はれる、筆靴の如き物に於てさへ斯うてある、況んや人間の身体の如き、複雜なるもので有りまするから、前に言ふ物品に於けるよりは、尚は烈しく當るもの故丁寧に厭ひながら休ませつゝ、使へば、ソレだけ保が宜い。一枚の着物を始終着て居るよりは取り代へ引き替へ休ませては着た方が着

休みの話

物の保が宜い、丁度人の身体も休ませては使ひ、休ませては使うと云ふやうにしなければならない。

ソレから休ませる時には、何う云ふ事をするかと云ひますると、休む時には先づ一日の中働いて休むときは食休み、煙草休みといッて煙草を吸ふとか、茶を飲むとか菓子を食べるとか、何か口の中に入れる、ソレから食事休み時になりますると空腹になりますから充分に食事をすると云ふやうな工台に、ソレ／＼休む時には物を口に入れることをする、是れは前に申しました通り機械を動かす理屈で御考へになッたら直に御解りになりませう。然るに今言ふ處の心を休めるには何うするか………先づ眠りまするのが、手足も休み、心も共に休んで一番休息になります、其外起きて居ッて心を休ませることも澤山有ります、自分の好きなものを見て樂む、美しきものを見て樂む、或は耳に音樂を聽いて樂み、面白き話を聽いて樂むとか、是等は皆心が休んで居るので有ります。ソレ故休憩の「ケイ」の字を見ますると舌と云ふ字を書いて甘と云ふ字を書き、下に心を書く、則ち休むには舌を甘くしたり、心を樂しましめたりすると云ふので有りませう、美味を食ひ、面白き事を見聞きするのが一番人間の樂みになる、則ち心も休みからだも休む譯て有ります。今日の衛生會などに於ても、私共が永い間御話をして貴女方を御苦め申したが、併し其間には心の樂む余興も有りましたから、皆様は定めて舌と心を甘くせられることゝ思ひます、どうか私が御話したやうな御心懸てからだを御養ひになり、明日の日曜を經て、明

後日は元氣恢復して仕事に從事せられたならば無病息災にして百歳の齢を保ッこと疑ひなしと思ひますから、新年の御祝義として芽出度休みの御話を致しました。

衛生叢談

●東京府民の飲食する牛乳と獸肉

其身体營養の効あると其臭氣が追々人に慣れしよりさしも或部分には忌み嫌はれし牛乳も今は販路餘程擴まりしも尙ほ府下十五區八郡にし其搾取所は三百一、其受賣所三百八十四、乳牛は三千四十六頭にして最近一ヶ月の搾額二千百石一斗一升五合に過ぎず然れば一頭が一ヶ月に產出する乳の量は六斗八升九合四勺にして一日二升三合弱にあたり牛乳一合を四錢と假定せば一ヶ月搾量總額は八万四千四圓六十錢となるが東京府の現住人口を百九十万とすれば廿七人强にて一合を飮む有樣とあるなり但し洋食の材料、アイスクリーム等に用ひらるゝものも尠なからざるべければ個人が其身体の營養にとて用ふるは愈よ尠なきに至るべし而も其搾出額を廿四年に比せば九百五十七石餘を增し廿八年に比するも四百六十九石餘を增すに至れり又東京共有、田中町、元子安、原町等の屠場にて屠殺し東京人の食饌に上る獸肉一ヶ月の總額は牛肉四十七万二千六百八斤（千三百八十四頭）馬肉十二万四百二十一斤（四百八十二頭）豚肉十万四千四百四十六斤（八百七十六頭）にて東京人は每口九十頭の獸を食ひ居る事あるが一人の食料に割

當れば二匁弱に過ぎず即ち肉一片位しか口に入らぬ勘定なり此外諸種の肉類の鑵詰は外國及び神戸廣島より多く府下に入り込み横濱より少なからさる牛肉入り來れど素より府下の附近にて屠殺する其半ばにも及ばず詰り東京人は毎日平均一匙の牛乳を飲み一片の獸肉を口にし居る有樣となるなり

●胎兒の長さを知る法

胎兒の長經の概略を知る簡法は妊娠の月數を自乘するにあり例之へは妊娠三ヶ月なれは三三が九仙迷 四ヶ月なれば四四の十六仙迷あるか如し然れとも此法たる五ヶ月迄は適用することを得れども六ヶ月以上は前月の長經に四若くは五を加ふべし然る時は期月の胎兒の長經を知るへし

一月1 二月4 三月3 四月16 五月25 六月32 七月37 八月42 九月47 十月51

●住所家居の注意

家の内外は成だけ清潔にすべし別けて朝は早く起て人々手をわけ善く掃除すべし芥は家より十間ばかりも離れたる所に寄せ置き三日目位に焚て灰になし肥料に用ゆるを可とす

又家の周圍に水溜りあれば熱病の元または傳染病の媒となるにつき水吐を善くし乾かすやうにすべし殊に芥の水にしめりたるは其毒最とも甚しとす故に家數の多き所にては其處の人々申合せて善く心掛け平常掃除すべし若しその相談に加はらざる者は人を病ましむる人なれば皆々申合せいかにもして說得するやうすべし

又家の内には無用の物などならべ置くは宜しからず道具は成だけ其數を少なくすべし拭き掃除を常によくすれば衣類品物も汚れず永きを保つべきに

道具のおほき時は自然拭き掃除の屆かぬことある者なればなり

又朝は早く起て夜具を片づけ窓其外とも廣く開けて日を入れ風を通し暫時して紙障子をたつべし夜具類は天氣の良き時日に曝し襦袢湯卷などは毎日洗ひ干して着るべし雨天などの時は爐の上に掛置て乾かすを良しとす

夫れ家の内清潔になれば人の心持も善く自から働も多く體も丈夫になるものなり不潔くして家の内よごれたるは病の元と知るべし神佛も唯をがみて信心するとも汚なき家には宿りたまはず家の掃除行とゞきて人々まめ〳〵しく立働かば祈らずとも其家に宿り守らせたまふべし

●衣類の注意

人の身体は内より暖たまる者なれば決して着類ば身体を暖たむる者と思ひ誤まるべからず試に寒の中に手を冷たき水に入れて見るべし久しくして其の人の肌ぐらゐに暖まり冷したる手は少し程ふれば直に元のとほりに暖まるべし夫は内より出る暖まりの外の風に取られて外部さむくなるなり故に衣類は其暖まりを蓄へて風に取られぬ爲め着る物と謂ふことを知るべし夫に付躰より出る暖まりと共に躰の中のあしき氣も水も出るに依り自から其水にまじりて出るもの垢になり着類につき惡しき匂を爲す者なるが其積は一日一夜には實に驚くべき程多く出るなり故に肌に着く襦袢湯卷などに忽まち垢つきて身體に毒を爲すに依り成るべく毎日清水にて洗ひ日に干すか又は火にて干すべく洗濯は唯清潔を好むばかりにてはなく體を害する毒物を洗落し去る者なり着類の品柄良しからざるも

洗張り行届きたるは却て奥床しきやう覺ゆるあり
又衣類の洗濯行とゞきたればとて身體の洗ひ方あしければ毛の孔汗の孔等ふざがり又暖まり過れば其出たる汗其外の毒み皮の上にこび堅まりて害を爲すべく又多く着物を着ればはだへの皮ゆるみて自然風を引やすく尚は色々の病をも生ずべきに付身体と着物とは平常能く洗ひ清潔になすべし然る時は皮のしまりもよく腫物なども出來ぬ者なり

◉食物の注意

鳥獸のたぐひ活て働く者には皆それ〳〵の食物備はり定まる者なり殊に人間は煮炙等のことを知るに依り何物にても食とならざる物なし然れども又何物にても其儘食して差支なき者は少なし故に堅き物や生なる者は新しきを撰び煮炙して柔らかになし食ふべし堅く硬く時たちて味はひの惡しくなりたる者は皆良しからず穀物の類野菜の類芋の類みな食物として身體を養ふ者あり
又海川の魚鴈鴨小鳥山鳥雉子の類猪鹿狐狸兎など何れも良き食物にして其肉の味よく養になる者多し又牛羊豚の如き鷄鶩の如きは人の飼育つる者にて全く人の身體を養ふべき爲め食物に備りたる者なれば大なるは牛豚小さきは鷄鶩其土地の便利によりて職業の遑を以て心掛け飼立なば誠にたやすく食物となすことを得べし都て我日本にては山川を始め林野田畑等にできる千萬の物いづれも食物となすべき物多し但土に生ずる者より依介の類鳥獸の肉は其味はひも善く養になる力も强し故に成るべく野菜に交へて肉類を食し身體を養ふやうすべし併し働もせず智惠もなく命を繋ぐのみならば何を食しても事足る可けれど心を働ら

かせ力を入れる仕事は良き物を食せざれば思ふやうには運ばぬ者あり抑も人間と生れたるからは成たけ多く稼ぎ多く働らきて良き物を食し良き生活をなしたき者ならずや

又生煮生炙の物や硬き物また時を經て其味の變りたる者は何にても毒なりコレラなども多く之より起るあり故に新しくよく熟して味うまき者を食ふべし

又一日三度の食事の内には必らず一度ぐらゐは鳥獸の肉を食ふべし古來毒忌と稱へて鳥獸の肉を食はぬやうすることあり眞に故なきことゝ謂ふべし食物に毒ありて身體の養になるべき譯あらず但病氣の時は別して柔かく消化よき物をゑらみて平常の時より少しひかへ目に食すべし決して品物に擇嫌はあらずと知るべし

大日本婦人衛生會記事

◉總會　三月十一日午後一時より四谷區新堀江町四谷區役所樓上に於て本會總集會を開く會する者百余名席定まるや岩井禎造君には煙草傳來の歴史より其害毒の恐るべき而も強烈なる魔睡劑なることを氏の實驗と經驗に徴して演説せられ右終るや濱尾副會長には會長欠席の爲め會長に代り一同へ挨拶せられ且本會規則修正の必要を簡短に述べられ委細は書記をして各條項に就き一々説明せしめ之を衆議に諮りしが滿場異議なく修正案に可決し半年度事務及會計報告等は精細に掲示して會員に示し續いて役員の改撰を擧行せり右會議終るや醫學士三輪信太郎君には小兒病に就き種々の標本圖畫等を示し演述せられしが此際役員は改撰投票の點檢をなし其結果を報告して散會を告けしは午後四時半頃なりき

◉本會總集會々場として四谷區役所借用に就ては仝區長　澤田彦十郎　仝區會議長鈴木直藏兩氏は本會の爲め特に便宜を與へらる茲に掲けて謝意を表す

◉總會に於ける役員改撰の結果左の如し　（性名いろは順）

會長　子爵夫人　仁禮壽賀子
副會長　濱尾作子
幹事　鳩山春子
仝　穗積歌子
仝　高木幸子
仝　松平芳子
仝　北澤信子
仝　宮下咲繼
仝　三浦敎子
評議員　男爵夫人　岩崎早苗子
仝　濱田裕子
仝　羽田三緒子

評議員　西升子
仝　西靜子
仝　德富靜子
仝　緒方悅子
仝　岡田德子
仝　加藤鈴子
仝　加藤常子
仝　子爵夫人　田中い代子
仝　丹波眞子
仝　男爵夫人　南部隈子
仝　中濱芳子
仝　伯爵夫人　松平充子
仝　馬渡玉子
仝　子爵夫人　秋元宗子
仝　木内磯路子
仝　宮本樂子
仝　三井晴子

尚役員承諾の有無は目下問合せ中なり

◉新潟支會賛成員醫學士淺田决君には全支會創立以來特に盡力せられ支會の日に增し盛んなるは同氏の力又多しと云ふ今回山形縣に轉任せらるゝを聞き本會は同氏に左の謝辭を送呈せり

謝狀寫

本會新潟支會創設以來格別御盡力に依り緒に就き効益尠からず今回山形縣へ御轉任の報に接し玆に謝辭を呈し候

明治三十二年三月二十日

大日本婦人衛生會々長
子爵夫人　仁禮壽賀子

新潟支會賛成員
醫學士　淺田　决殿

◉本會舊事務員太田幾子永逝に就ては新潟支會より金貳圓　幷に左の吊詞を送付せられしを以て本會は太田幾子實姉小高歌子に贈與せしが同氏より支會へ謝狀を送呈の筈なりとす

吊悼文寫

本會は私立大日本婦人衛生會事務員太田幾子の訃音に接し玆に薄賻を贈りて以て聊か吊悼の意を表す

明治三十二年二月

私立大日本婦人衛生會
新潟支會會長　勝間田千代子

廣告

◉入會者（三月中）

○幹事鳩山春子の紹介に依り
牛込區早稻田町
終身會員 伯爵夫人 大隈綾子
牛込區早稻田町 通常會員 大隈熊子

○木村いわ子の紹介により
本鄕第一醫院 堀かく子
仝 双木せう子

○吉田けん子の紹介により
京橋木挽町三丁目十三番地佐藤方 白神しげ子

○白神しげ子の紹介により
京橋三十間堀二丁目八番地 植木ゆき子

○寺田りう子の紹介により
埼玉縣浦和師範學校內 峰岸政之子

○事務所へ申込
神田區錦町三丁目二番地鈴木方 上原よね子
清國上海橫濱正金銀行出張所內 通常會員 中村久良子
神田區一ッ橋女子職業學校內 矢野德代子
神田區一ッ橋女子職業學校內 富澤いく子
奈良市大豆山突拔十三番地 菅ゆう子

◉新潟支會入會者（三月中）

新潟市下旭町 特別會員 沼澤昌江子
仝上旭町一番町 仝 松本正木子
仝上旭町一番町 通常會員 宮こう子
仝下旭町 仝 小藪さだ子
仝學校町二番町 仝 藤田花子
仝 仝 鈴木きよ子
仝本町通十一番町 仝 大橋とめ子
仝上旭町一番町 仝 小串さだ子

尙通常會員水野とら子は本年より特別會員となられたり

會告

本會春期懇親會來る四月十五日第三土曜日に略々內定例會を兼開會の都合に有之候尙時日場所等確定の上にて再告可致候也

大日本婦人衛生會

廣告

自明治三十一年九月至仝三十二年二月

收支決算報告

收入之部

一金七百參拾六圓四拾四錢六厘

內譯

一金參百貳拾六圓四拾參錢六厘　三井銀行預前年繰越
一金參百五拾八圓貳拾八錢　會費集高
一金七圓參拾五錢　雜誌廣告ヶ收入
一金七圓貳拾九錢　三井銀行預金利子
一金壹圓〇九錢　小口當座預ヶ利子
一金參拾六圓　新年福引寄附金

支出之部

一金七百拾七圓貳拾五錢

內譯

一金百五拾壹圓四拾六錢五厘　雜誌及諸印刷費
一金參拾參圓五拾錢　會費雜誌通知集配料
一金貳拾八圓九拾五錢五厘　郵券及端書
一金五拾圓　編輯員及原稿寄送者報酬
一金四拾貳圓　事務員報酬
一金九圓　臨時慰勞金
一金拾五圓　速記料
一金拾七圓拾貳錢五厘　會場費
一金參拾六圓　新年福引會場諸費
一金七圓貳拾五錢　筆墨紙料
一金拾參圓　香花料
一金貳拾貳圓八拾六錢五厘　雜費及車代
一金貳百五拾圓　三井銀行定期預
一金四拾圓　小口當座預
一金壹圓〇九錢　同利子

收支差引

金拾九圓拾九錢六厘　手元殘金

本會財產調（明治卅二年二月現在）

金參百拾圓貳拾八錢六厘

内譯

金貳百五拾圓　三井銀行預金
金四拾圓　小口當座預
金壹圓〇九錢　同利子
金拾九圓拾九錢六厘　手元殘金

現在會員數調

總會員數　千〇五拾八人

内譯

府下終身會員　貳拾三人
地方終身會員　六人
府下特別會員　貳拾三人
地方特別會員　三人
府下賛成員　五拾五人
地方賛成員　拾七人
府下通常及學生會員　五百七拾貳人
地方會員　百五拾八人
新潟支會々員賛成員　百五拾人
千葉支會員　參拾五人

以上

●明治三十一年九月以降本年二月に至る寄送雜誌數左の如し

〇大日本私立衛生會雜誌　六冊　大日本私立衛生會
〇埼玉衛生雜誌　六冊　同　埼玉衛生會
〇藥石新報　十八冊　藥石新報社
〇女學講義　六冊　大日本女學會
〇中外藥報　中外藥報社
〇越佐教育雜誌　六冊　越佐教育雜誌會
〇通俗衛生　六冊　大阪私立衛生會
〇婦人新報　六冊　婦人新報社
〇三重衛生雜誌　三重衛生雜誌發行所

明治三十二年三月

大日本婦人衛生會

明治三十二年三月二十日現在

私立大日本婦人衛生會規則並本支會役員會員名簿

私立大日本婦人衛生會

此名簿中住所氏名に錯誤遺漏若くは移動あることを御發見の節は乍御手數本會事務所宛詳細御報導被下度特に御依賴申上候也

明治三十二年三月二十日

東京市四谷區仲町三丁目二十三番地

私立大日本婦人衛生會事務所

私立大日本婦人衛生會規則 （明治三十二年三月改正）

第一章 目的

第一條　本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ随て社會全般の幸福を増進するにあり

第二章 名稱位置

第二條　本會は大日本婦人衛生會と稱し之を東京に置き地方に便宜支會を設く

第三章 會員

第三條　本會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得

第四條　入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込むべし入會者には會員證を交付す入會後轉居等あるときは速に事務所に報知すへし

第五條　會員を分ちて、終身、特別及通常の三種とす

終身會員は一時に金拾圓以上特別會員は一ヶ月金貳拾錢以上、通常會員は一ヶ月金拾錢を納むる者とし學生其他事故ある者は減額して金七錢を納むるものとす

第六條　男子にして本會の旨趣を賛成する者は之を賛成員とす其會費は本會員に同じと雖も本會に功勞ある者又は本會に於て特に賛成員たることを望みたる者は役員の協議に依り無會費とすることあるへし

第七條　會員は本會に於て毎月發刊する雜誌を無料にて受ることを得

第八條　退會せんとする者は會員證を添へ本會事務所に報知すへし死亡する時は親戚知友より通知すへし

第四章　役員

第九條　本會に推戴員を置き其中より總裁一名を奉じ皇族の妃殿下に願出るものとす

第十條　本會に左の役員を置く

會長一名　副會長一名　幹事七名　評議員二十名　書記若干名

第十一條　會長副會長幹事評議員は毎年三月の總會に於て會員の投票を以て之を撰擧し書記は幹事の推薦に依り會長之を命す

但書記は都合に由り會員外の婦人若くは男子に託することあるべし

第十二條　會長は本會を總理し副會長は會長を補佐し會長事故ある時は之を代理し幹事は會務を掌理し評議員は重要なる會務を評議し書記は役員の命を受け諸記錄雜務を掌る

第十三條　會長の見込を以て役員外特に會員中より臨時指名委員を置くことあるへし

幹事の分課を設け　第一會計　第二編輯出版　第三庶務とす

第十五條　會長副會長幹事評議員の任期は一ヶ年とす滿期再選することを得若し任期中缺位を生するときは次點者を以て補缺す

第十六條　會長副會長幹事評議員は無給とす書記には相當の報酬を給す

第五章　集會

第十七條　集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外毎月一回とし通常第一土曜日午後一時より開會するものとす總會は三月に之を開く若し急要の事あるときは臨時に總會を開くことあるへし評議員會は時々開會須要の事項を評議するものとす

第十八條　毎會學識經驗ある者に衛生上の講義演說談話を囑託し會員をして隨意聽講せしむるものとす

第十九條　會員は家族の婦女若くは知已の婦人を本會々場に誘致し講義演説等を陪聴せしむることを得

第二十條　講義演説等ハ男子の傍聽を禁す但賛成員若くは會員に緣故ある男子は此限にあらすと雖も本會の都合に由り臨時謝絶することあるべし

第二十一條　規則の改正を要し又は重要の事件あるときは總會に於て議定するものとし議定は總て多數決とし可否同數なるときは議長之を決するものとす

第廿二條　毎年三月總會に於て會計の收支決算並に庶務の概要會員の增減等を報知すへし

第六章　會計

第廿三條　本會の所有金は本會の名義を以て三井銀行に預くるものとす

第廿四條　會計の收支は總て會計擔任の幹事撿印を要するものとす
但些少の金額に限り日用支出の爲め事務所に引出置くことを得

第廿五條　會計は一ヶ年毎に决算し翌年三月總會に報告すへし

第七章　支會

第廿六條　地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得
支會は私立大日本婦人衛生會某支會と稱し其規則は本會の規則と抵觸せさる樣記载すへし

第廿七條　本會々員にして支會を設立せんとするときは發起者の姓名を記載して申出べし尓後會員數增減あるときは其姓名を支會より本會事務所に報知すべし
本會々員にして支會に加入したる者の會費は本會に納付することを止め支會の規定に依るものとす

第廿八條　支會限り支會々員を置くことを得

第廿九條　支會に加入したる本會員に配付すべき本會雜誌は支會に回送すへきを以て其會費を支會

より本會に送付すべし支會限りの會員にして雜誌を請求する者に就きても亦同じ

第三十條　支會は集會の都度其狀況等を本會に報告すべし

第八章　雜件

第卅一條　本會は毎月一回雜誌を發刊し每會に於ける衛生上の講義演說談話等の筆記を掲載し又本會の諸報告等を掲け之を會員に配付すべし支會の報告あるときは又同じ

第卅二條　會員又は會員外の者にして金圓若くは書籍物品等を本會に寄贈する者ある時は本會々長の名を以て謝狀を贈り寄贈者の姓名及品目を簿冊に登錄し尙本會雜誌を以て報告すべし

第卅三條　會費金は受領証を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵劵にて納むるものは受領証送費として別に郵劵二錢を添へらるべし然らざれば受領証を送付せず

第卅四條　會費は郵便小爲替にて本會事務所所在の郵便取扱所宛振出しあるべし

但止むを得ざる場合には郵劵を代用するも妨けなしと雖も總て一割增とす

第卅五條　會員中若し本會の障害となるべき所爲ある者又は屢々會費を督促するも納付せざる者あるときは會長評議會の決議を經て除名し若くは廣告することあるべし

第卅六條　本規則は會長の意見又は會員二十名以上の賛成に依り總會の決議を經るに非されば之を更正することを得ず

本規則ハ明治三十二年四月一日ヨリ施行ス

私立大日本婦人衛生會

（事務所　四谷區仲町三丁目廿三番地）

大日本婦人衛生會役員姓名

總裁　小松若宮依仁親王妃周子殿下

會長　子爵夫人　仁禮壽賀子

副會長　濱尾作子

幹事　鳩山春子

仝　穗積歌子

仝　高木かう子

仝　松平芳子

仝　北澤信子

仝　宮下咲子

仝　三浦教子

評議員　男爵夫人　岩崎早苗子

仝　濱田捨子

仝　羽田三緒子

仝　西升子

仝　男爵夫人　西靜子

仝　德富靜子

評議員　緒方悦子

仝　岡田德子

仝　加藤鈴子

仝　加藤常子

仝　子爵夫人　田中い代子

仝　丹波貞子

仝　男爵夫人　南部隈子

仝　中濱芳子

仝　伯爵夫人　松平充子

仝　馬渡玉子

仝　子爵夫人　秋元宗子

仝　木內磯路子

仝　宮本樂子

仝　三井晴子

（右姓名いろは順）

大日本婦人衛生會會員姓名

終身會員之部（姓名いろは順以下同上）

本郷區三組町八十六番地		石崎つる子
小石川區金富町三十三番地		濱尾さく子
小石川區音羽七丁目十番地		鳩山春子
麴町區上二番町四十四番地		加藤すゝ子
京橋區築地三丁目四番地	男爵夫人	花房千鶴子
神田區駿河臺北甲賀町四番地		西邑せつ子
京橋區三十間堀三丁目十七番地		西升子
牛込區早稻田邸	伯爵夫人	大隈綾子
本郷區切通岩崎邸內		加藤春路子
麻布區狸穴町四番地	伯爵夫人	川村春子
麴町區中六番町三十六番地		高木くら子
京橋區西紺屋町十番地		高本さみ子
麻布區市兵衞町一丁目五番地		田中さら子
麻布區竹屋町六番地		高平清子
小石川區水道端町二丁目四十一番地	子爵夫人	田中すま子
本郷區弓町二丁目二十番地		丹波さだ子
赤坂區青山南町二丁目六十五番地		椿たか子
麻布區本村町四十七番地	男爵夫人	南部限子
京橋區山城町三番地鳩山事務所		上原豊子
京橋區因幡町七番地		宮下咲子
小石川區水道町二番地		三井捨子
小石川區林町	伯爵夫人	土方亀子
赤坂區青山南町六丁目百〇三番地		森寛子

特別會員之部

麴町區三番町三十三番地		飯田たつ子
淺草區猿若町一丁目三十七番地		岩田晴子
小石川區上富坂町二十三番地		猪狩たか子
麻布區網町十番地	子爵夫人	仁禮すが子
牛込區築土前町二丁目八番地		外山ふさ子
本郷區西片町十番地		岡田德子
赤坂區氷川町五十一番地		太田龍子
麴町區五番町十四番地		加藤常子
小石川區本郷田町二十八番地		加藤ひで子
本郷區西片町十番地ろノ二		片山かめ子
麴町區一番町三十番地		金子家蔚子
神田區駿河臺鈴木町廿二番地		加藤春路子
麴町區下二番町四十一番地		吉武輝枝子
麴町區上二番町二十五番地	公爵夫人	鷹司順子
日本橋區元大工町九番地		高橋瑞子
赤坂區青山北町六丁目四十七番地		多久ちゑ子
麻布區笄町百四十番地		圖師さよ子
麴町區五番町十四番地		野崎りく子
四谷區元鮫ヶ橋五十八番地	伯爵夫人	松平充子
神田區西紅梅町十六番地	子爵夫人	松井正子
麴町區平河町六丁目七番地		萩原のふ子
神田區北甲賀町十四番地	子爵夫人	秋元宗子
本郷區西片町十番地へノ十二號		榊幸子
京橋區弓町四番地		鹽澤よし子

賛成員之部

牛込區揚場町十七番地　男爵　石黒忠悳君
日本橋區久松町四十番地　入澤達吉君
京橋區南鍋町一丁目七番地　伊澤信平君
神田區北甲賀町十番地　濱田玄達君
小石川區金富町三十三番地　濱尾新君
小石川區音羽七丁目十番地　鳩山和夫君
赤坂區新町三丁目十五番地　萩原彌四郎君
本郷區東片町十六番地　緒方正規君
本郷區東片町百三十一番地　大澤謙二君
日本橋區小傳馬町三丁目五番地　大竹茂吉君
本郷區西片町十番地への十二號　岡田和一郎君
麴町區上二番町四十四番地　加藤弘之君
麴町區五番町十四番地　加藤照麿君
麴町區飯田町六丁目　樫村正德君
神田區小川町五十一番地　賀古鶴所君
京橋區西紺屋町十番地　高木兼寛君
牛込區東五軒町四十四番地　高木豊三君
芝區伊皿子町七十五番地　高山紀齋君
麴町區永田町二ノ二十八番地　男爵　高崎正風君
神田區鈴木町二番地　高田耕安君
下谷區練塀町田代病院　田代義德君
本郷區弓町二丁目二十番地　丹波敬三君
本郷區弓町二丁目十四番地　辻新次君
本郷區西片町十番地ろノ三號　坪井次郎君
麻布區本村町四十七番地　男爵　南部甕男君
麻布區宮村町六十七番地　長與專齋君
京橋區弓町八番地　中濱東一郎君

赤坂區青山南町七丁目三番地　長井長義君
京橋區采女町二十五番地　隈川宗悅君
麴町區富士見町一丁目一番地　山根正次君
神田區袋町十三番地　增田知正君
麴町區下六番町五十二番地　馬屋原彰君
神田區柳原町一番地　山本幸藏君
芝區三田三丁目十八番地　松山棟庵君
在滿洲民政局官舍　後藤新平君
小石川區指谷町盲啞學校　小西信八君
日本橋區蠣殼町二丁目七番地　小林延之助君
本郷區眞砂町十二番地　足立寬君
神田區北甲賀町十四番地　子爵　秋元興朝君
神田區北甲賀町十一番地　佐々木政吉君
神田區猿樂町二十五番地　佐藤三吉君
日本橋區濱町三丁目一番地　齋藤澤吉君
品川大橫町　齋藤淸文君
日本橋區葭町　佐竹勝兵衛君
全區全町　齋藤正兵衛君
麴町區中六番町十四番地　北澤正誠君
本郷區元町二丁目四十七番地　岸田松次郎君
京橋區因幡町七番地　宮下俊吉君
小石川區竹早町八十一番地　三宅秀君
神田區駿河臺北甲賀町　三浦謹之助君
京橋區南鍋町一丁目七番地　三島通良君
神田區雉子町三十番地　宮本仲君
麴町區飯田町六丁目十九番地　弘田長君
赤坂區青山南町五丁目五十番地　本尾敬三郎君
四谷區坂町一番地　鈴木宗玄君

通常會員之部（附學生）

い之部

麹町區有樂町二丁目三番地　池上ひさ子
牛込區早稻田馬場下町三十五番地　犬養千代子
牛込區東五軒町四十二番地　伊藤琴子
下谷區練塀町四十三番地　井岡筆子
芝區伊皿子町　侯爵夫人　伊藤梅子
芝區高輪車町三十八番地　子爵夫人　伊東ちせ子
牛込區佐土原町二丁目一番地　伊東富子
麹町區霞ヶ關外務省官舍　飯田幸子
牛込區北山伏町四十番地　板倉藤子
芝區田町一丁目十二番地　石河里子
日本橋區濱町三丁目六番地　磯田かつ子
麹町區永田町一丁目十七番地　男爵夫人　伊東やへ子
麹町區永田町一丁目七番地　伊東雪子
神田區淡路町二丁目四番地　井野うち子
四谷區本村町三十二番地　市尾はつ子
神田區袋町十三番地増田病院　今泉きく子
芝區明舟町二十番地　岩野幾世子
芝區田町七丁目六番地　今村家壽子
芝區田町八丁目七番地　磯邊鍬子
神田區錦町一丁目八番地山田屋方　飯田みき子
麹町區二番町三十一番地　井上むつ子
麹町區元園町一丁目二十七番地　巖谷もと子
麹町區紀尾井町三番地七十五號　家永えい子
神田區東紺屋町十七番地　男爵夫人　岩崎早苗子
麻布區宮村町　伯爵夫人　井上武子
麻布區廣尾町三十三番地　井上光子
小石川區指ヶ谷町盲啞學校　石川さの子
小石川區原町百二十五番地　岩橋さき子
本郷區本郷四丁目三十五番地　石井園子
小石川區久堅町七十四番地　五十嵐つれ子
本郷區駒込二百三十二番地　今泉幸子
本郷區曙町十六番地　岩永さと子
本郷區曙町十六番地　今村末子
本郷區順天堂醫院　井上千代子
本郷區春木町二丁目五十六番地　伊東まさ子
赤坂區氷川町九番地　石黒すま子
本郷區天神町一丁目九十四番地　今田初子
赤坂區田町七丁目二番地　石田くめ子
芝區愛宕町　伯爵夫人　板垣きぬ子
四谷區坂町九十番地　稻垣かつ子
四谷區大番町十九番地　石川さだ子
京橋區桶町二十六番地　石崎ひさ子
京橋區木挽町二丁目十一番地　飯島鶴子
京橋區瀧山町十番地　石川さだ子
神田區三崎町三丁目一番地　伊藤喜美榮子
神田區北甲賀町九番地　男爵夫人　池田きれ子
神田區南神保町十七番地　一井てい子
下谷區東黑門町九番地　犬養かつ子
淺草區小島町五十七番地川井方　猪熊はな子
深川區洲崎快養舘　井澤ろく子
京橋區築地三丁目八番地　池田よれ子
赤坂區福吉町二番地　公爵夫人　一條眞子
芝區愛宕町二丁目北里病院　入澤みき子
赤坂區青山權田原町十七番地　石光さだ子

は ノ 部

赤坂區一ツ木町八十一番地	羽田三緒子
赤坂區新町五丁目四十二番地	原田若生子
麻布區市兵衛町一丁目六番地	早田糀子
小石川區竹島町七番地	服部繁子
麹町區紀尾井町三番地	橋本貞尾子
本郷區西片町十番地ろ十一	長谷川きよ子
小石川區林町四十四番地	濱きん子
牛込區矢來町四番地三十一號	伴よし子
牛込區山吹町八番地	橋本ちせ子
牛込區佐內坂町三十一番地	林竹子
牛込區山伏町十番地	林靜子
本郷區西片町十番地ろノ十號	服部もさ子
麹町區平河町六丁目二十六番地	原みつ子
下谷區龍泉寺町百四十八番地	原れい子
下谷區御徒町一丁目三十五番地	早川花子
京橋區築地三丁目十五番地	橋口清子
芝公園七號ノ一	早川春子
神田區駿河臺南甲賀町八番地	原八重子
神田區錦町三丁目二番地鈴木方	塙させ子
日本橋區北新町二番地	林つる子
神田區小川町四十一番地	林さく子
神田區南甲賀町八番地	原政子
神田區北甲賀町十番地	濱田捨子
本郷區金助町四十四番地	萩谷まさ子
竹橋中央氣象臺官舍	馬場きく子
小石川區指ヶ谷町九番地	長谷川てふ子
淺草區左衛門町一番地	畑谷よれ子

に ノ 部

芝公園第七號ノ一早川方		西卷都兒子
麹町區飯田町六丁目十六番地		西尾京子
京橋區三十間堀二丁目九番地		新山きく子
京橋區三十間堀三丁目十七番地		西升子
仝所	男爵夫人	西靜子
京橋區水谷町三番地赤澤方		西村登代子
牛込區砂土原町三丁目十六番地		西川ふみ子
赤坂區氷川町一番地		新山雅樂子
牛込區仲町十一番地		仁尾しげ子
神田區北甲賀町四番地		西邑せつ子

ほ ノ 部

赤坂區青山南町七丁目一番地青山學院		本多てい子
四谷區本村町三十二番地		本郷いく子
神田區淡路町二丁目二番地		穗積さい子
麻布區富士見町二十八番地	男爵夫人	本田梅子
本郷區西片町十番地にノ二十九號		細木登美子
小石川區原町三十四番地		穗積松子
牛込區拂方町九番地		穗積歌子
本所區相生町三丁目二十七番地		本間よし子

へ ノ 部

牛込區鷹匠町三番地	別役ゆか子

と ノ 部

牛込區若宮町十二番地	豊島清子
赤坂區檜坂町五番地	德富靜子
芝區三光町二十五番地	時任しつ子

芝區新網町一丁目三十番地　徳田糸子
神田區一ッ橋女子職業學校　富澤いく子

ちわノ部

麹町區永田町二丁目七番地　長郷千代子
日本橋區濱町二丁目四番地　長志賀子
四谷區荒木町二十七番地　渡邊ふさ子
日本橋區茅場町四十九番地　渡邊よれ子
麻布區網代町一番地　蕨谷保子
麻布區霞町二番地　渡邊ちせ子
牛込區北町十四番地　和田垣つな子
下谷區二長町五十九番地　和田ふく子
日本橋區濱町三丁目一番地　若林かれ子

かノ部

神田區南甲賀町　金杉松子
本郷區順天堂醫院　加藤もよ子
芝區車町二十四番地　川上やす子
麹町區富士見町六丁目二番地　男爵夫人　神山まさ子
神田區袋町十三番地増田病院內　鹽谷きん子
麹町區麹町九丁目　川村貞子
小石川區茗荷谷町八十一番地　笠井梅野子
神田區淡路町二丁目九番地　神田德子
芝區小山町一番地　加藤つる子
芝區白金臺町一丁目七十一番地　河津敏子
麹町區富士見町二丁目三十二番地　春日井清子
麹町區富士見町四丁目四番地　河本かめ子
牛込區矢來町一番地　河合きん子
麹町區飯田町六丁目　樫村榮子

牛込區拂方町四番地　河合りう子
牛込區新小川町二丁目十番地　川田みつ子
牛込區東五軒町五十一番地　河上古代志子
麻布區霞町一番地　門野駿子
芝區田町九丁目四番地　加藤きく子
芝區芋手町十七番地　加藤きよ子
麻布區狸穴町四番地　伯爵夫人　河村春子
北豊島郡瀧野川村九十六番地　鹿島いれ子
芝區高輪車町五十五番地　加藤展子
深川區島田町九番地　鹿島いさ子
深川區大工町三十九番地　鹿島こさ子
麹町區永田町二丁目二十八番地　河野せき子
日本橋區兜町三番地　粕谷たけ子

よノ部

芝區高輪臺町一丁目二十三番地鷹見方　横山しん子
本郷區元町一丁目六番地　吉原よれ子
麻布區網代町一番地　吉澤まき子
京橋區銀座三丁目二十一番地　吉田賢子
京橋區南鍋町二丁目五番地　米津たか子
本郷區西片町十番地はノ五號　横川下枝子
芝區愛宕下町四丁目七番地　吉原かや子
芝公園七號ノ十二　吉田よし子
牛込區西大久保村四百六十番地　與倉靜子

たノ部

麹町區永田町二丁目七番地　高島つる子
本郷區西片町十番地　田口つる子
日本橋區本町二丁目十二番地　高橋孝子

麻布區霞町二十二番地　玉利和歌子
四谷區鮫ヶ町五十九番地　財部さわ子
神田區北甲賀町八番地　田村てう子
神田區東紺屋町六番地　高瀬みき子
神田區仲猿樂町七番地　高橋濟子
神田區今川小路一丁目五番地　田中こう子
神田區鈴木町二番地　高橋てる子
神田區駿河臺鈴木町十二番地　高田てる子
芝區伊皿子町七十五番地　高山あい子
本郷區本郷二丁目十七番地松芳方　高山らく子
牛込區袋町七番地　高山さき子
牛込區矢來町四番地　高橋藤子
牛込區神樂町二丁目六番地　竹屋雅子
牛込區東五軒町四十四番地　高木かう子
芝區伊皿子町　高橋あい子
赤坂區青山北町二丁目三十二番地　高橋らく子
小石川區水道端町二丁目四十一番地　子爵夫人　田中すま子
駒場農科大學官舍　多々良さ代子
京橋區南鍋町一丁目五番地　多田なを子
牛込區矢來町四番地　高田藤子
京橋區西紺屋町十五番地　高木富子
京橋南鍋町二丁目四番地　立川貞子
京橋區木挽町九丁目三十番地　高石さみ子
淺草區田町一丁目九番地　田中たか子
京橋區若松町十六番地植村方　高瀬市枝子
京橋區宗十郎町一番地　高松よし子
京橋區新富町五丁目八番地　高岡波子
京橋區南金六町十四番地　高崎妙子
神田區通新石町十九番地　竹内しよう子
麹町區飯田町六丁目十七番地　丹治春子
本所區向島寺島村　竹内さみ子
麹町區平河町六丁目十三番地　武富すみ子
日本橋區濱町二丁目大井田方　高梨さだ子
仝所　高野やゑ子
麹町區一番町宮內大臣官舍　子爵夫人　田中い代子
麻布區霞町一番地　玉利のふ子
神田區錦町三丁目十七番地（地方へ轉居）　高木桑子
芝區芝公園二十五號地　田中てる子

そノ部

芝區巴町二十九番地　園田謹子
四谷區仲町三十五番地　相馬睦子

つノ部

本郷區弓町二丁目十四番地　辻さゝ子
四谷區植物御苑　堤松子
本所區綠町一丁目十八番地　津田かめ子
下谷區車坂町百〇七番地　築山かう子
本郷區西片町十番地ろノ十三　坪井なを子
本郷區西片町十番地ろノ三號　坪井くに子
麹町區富士見町五丁目九番地　佃梅子
麹町區下二番町　津田仲子
芝區源助町十二番地　津田たま子

ねノ部

日本橋區龜島町三番地　練方よも子
下谷區池之端茅町二丁目四番地　根岸かな子

なノ部

麹町區富士見町五丁目十七番地　長田しき子
下谷區二長町五十二番地　永谷きし子
京橋區元數寄屋町二丁目十一番地　長井ぬい子
麹町區一番町二番地　長崎多恵子
京橋區弓町八番地　中濱芳子
麻布區東鳥居坂町二番地　鍋島業子
麻布區日ヶ窪　長與その子
麹町區永田町二丁目一番地　侯爵夫人　鍋島榮子
小石川區宮下町十番地　中村春子
深川區佐賀町二丁目二十乙番地　長江しげ子
本所區龜澤町二丁目三番地　中村たけ子
牛込區砂土原町一丁目三番地　鍋倉梅子
牛込區南町三十三番地　中村音海子
南豊島郡澁谷村字堀ノ内　長森ひで子

むうノ部

芝區櫻川町五番地　室さもと子
麻布區三軒家町五十番地　向山靜子
高輪南町五十七番地　上野幾子
芝區車町四十四番地　上村きよ子
神田區錦町一丁目二番地木内方　内山松榮子
京橋區釆女町三十六番地　浦島てい子
日本橋區通四丁目　牛山竹代子
神田區淡路町二丁目四番地　宇都木しげ子
神田區錦町三丁目二番地鈴木方　上原よね子
麹町區下六番町五十二番地　馬屋原ひさ子
麹町區飯田町三丁目二十七番地　植村たえ子

神田區袋町十三番地　内山くら子
神田區東紅梅町十三番地　内田すま子
麹町區三番町　子爵夫人　裏松千代子
小石川區江戸川町二十一番地　植松千代子
赤坂區青山南町六丁目百四十六番地　内山訓子
深川區龜住町百四十六番地　薄井八重子
本所區若宮町七十六番地　村山すゑ子
京橋區三十間堀二丁目八番地　植木ゆき子

のノ部

本郷區金助町十二番地　男爵夫人　野田すみ子
京橋區中橋廣小路六番地　野澤　江子
芝區芝紅葉館内　野邊地たき子
四谷區信濃町　野崎わか子
小石川區久堅町三丁目八番地　野村すみ子
深川區三好町三番地　野々宮みよ子
赤坂區田町二丁目十五番地　野崎せい子

をおノ部

牛込區早稲田邸　大隈旅子
赤坂區臺町十四番地　大西幾子
芝區松本町四十四番地　緒方芳子
芝區城山町七番地　沖き代子
日本橋區小網町四丁目五番地　大森八重子
日本橋區青物町三十三番地　岡野かく子
芝區高輪臺町二番地　大西靜子
芝區傳染病研究所　岡村しげ子

四谷區左京町十三番地　尾崎いさ子
麻布區仲ノ町十一番地　大井上錝子
麴町區下二番町六十六番地　岡野いく子
麴町區下六番町十九番地　岡山さし子
神田區北甲賀町十四番地　大澤さ代子
京橋區築地三丁目十五番地　大田もさ子
麴町區三番町七十番地　小倉すえ子
麴町區中六番町六番地　岡田せい子
神田區皆川町四番地　尾瀬づろ子
神田區錦町三丁目二番地　大關ちか子
日本橋區殻町一丁目三番地　大井田貞子
本郷區東片町百十六番地　緒方悦子
本郷區東片町百三十一番地　大澤さく子
本郷區西片町十番地ろノ十六　岡澤わが子
本郷區順天堂病院　大久保晃子
本郷區湯島切通坂町三十七　岡田ひで子
牛込區横寺町六十番地　奥山千代子
神田橋内特税廳官舍　小倉田鶴子
下谷區御徒町一丁目九番地　大森粂子
淺草區新森田町二番地　大谷嘉知子
麻布區三軒家町三十八番地　小倉すゝ子
麻布區本村町百七十四番地　岡崎き代子
本郷區東片町百十六番地　大村安子
南豐島郡千駄谷ヶ村　侯爵夫人　大山捨松子

く ノ 部

本郷區順天堂醫院　桑原もさ子
本郷區湯島切通三十二番地　黒須さめ子
赤坂區靈南坂町三十番地　黒田てつ子
赤坂區田町二丁目十番地　呉學子
麴町區飯田町一丁目八番地　口羽いま子
本郷區元町十八番地　栗塚龍子
小石川區指ヶ谷町七番地　倉田香名子
淺草區田町一丁目九番地　栗田稲子
小石川區金富町三十五番地　久保田八重子
神田區錦町三丁目二番地東京看護婦會　桑原千代子

や ノ 部

芝區榮町八番地　山田そ代子
麴町區上二番町三十八番地　山本多穂子
芝區神谷町十八番地　山田ます子
麴町區永田町二丁目五十六番地　山田登利子
牛込區市谷富久町百二十六番地　安保よれ子
赤坂區新町五丁目四十二番地原田方　柳川基礎子
牛込築土前町三十一番地　山川二葉子
淺草區元鳥越町四十一番地　山路光子
本郷區順天堂醫院　山本はな子
四谷區本村町三十七番地　山上よし子
芝區本芝三丁目十五番地　山岡せい子
麴町區一番町二十七番地　安永きく子
神田區一ッ橋通町女子職業學校内　矢野德代子
仝　所　宮澤いく子
芝區巴町三丁目二番地　山際はる子
麴町區三番町五十一番地　矢守つや子
芝區田町四丁目六番地　山田くめ子
京橋區西紺屋町八番地看護婦會　山本里子
京橋區西紺屋町十番地　山本みつ子
芝區三田四國町十五番地　山口せき子

麹町區上二番町三十三番地　矢島かち子
京橋區西紺屋町八番地　山田さら子
神田區柳原河岸十二號　山本榮子
京橋區築地二丁目五番地藤田方　山本たま子
日本橋區濱町三丁目一番地　山田そめ子
神田區美土代町二丁目一番地堀口昇方　山岡みき子
芝區三田一丁目四十一番地　子爵夫人　山地謙子
神田區西紺屋町八番地　山田政子

まノ部

赤坂區新町五丁目三十六番地　牧野清子
京橋區西紺屋町八番地　眞山孝子
麹町區平河町五丁目五番地　松本梅子
麻布區材木町　松岡光子
芝區三田三丁目十四番地　松山信子
牛込區築土八幡町五番地　松井喜伊子
本郷區弓町一丁目十五番地　子爵夫人　松平鈴子
本郷區元富士町二番地　侯爵夫人　前田則子
下谷區仲徒町二丁目三十五番地　丸茂むめ子
本郷區醫科大學婦人科醫局　松谷あい子
深川區三好町二番地　松村鐙子
麹町區元園町一丁目三十九番地　前田さよ子
牛込區赤城下町二十二番地　增田せい子
下谷區龍泉寺町九十二番地　增田花子
神田區鍛冶町　松屋竹代子
南豊島淀橋町七百二十四番地　馬渡たま子
牛込區天神町五十九番地　松作せき子
本郷區西片町十番地へノ三　直水定子
芝區櫻川町十番地　牧かれ子

芝區公園九號の七　町田ゑい子
芝區三田一丁目二十八番地　伯爵夫人　松方政子
麻布區市兵衛町二丁目八十九番地　松平芳子
神田區北神保町十八番地　馬島園子
北豊島郡瀧野川村八十八番地　松井すま子

ふノ部

麹町區下六番町四十四番地　深堀　梅千代子
麹町區下六番町四十四番地　深堀あい子
麹町區飯田町一丁目八番地　船曳みき子
麻布區本村町百五十四番地　藤田聞子
麻布區材木町　藤岡千勢子
四谷區新宿御料地內　福羽てい子
本郷區弓町二丁目三十四番地　古市かう子
麹町區有樂町二丁目三番地　深川はる子
芝區小山町一番地　福島つる子
芝區北里病院內　深澤はる子
京橋區出雲町十六番地　福原さく子

こノ部

神田區鈴木町二番地　後藤あさ子
神田區錦町三丁目七番地　小柳安子
日本橋區元大坂町十三番地　後藤はつ子
神田區猿樂町二丁目二番地　小柳睦子
神田區猿樂町二丁目三番地　小林すて子
本郷森川町一番地南堺二百四號　近藤幸子
本郷區西片町十番地にノ二十八號　兒島悦子
本郷區湯島切通坂町八番地　小立爲子

牛込區納戸町四十六番地　木場こゆり子
赤坂區青山南町三丁目五十一番地　原東雲子
麹町區永山町二丁目二十八番地　河野せき子
芝區明舟町十六番地　小森すが子
神田區錦町一丁目二番地　小篠もと子
日本橋區蠣殼町二丁目　小柳美代野子
神田區松下丁十番地　木檜延子
日本橋區濱町一丁目三番地大井田方　木南こよ子
麹町區元園町一丁目十一番地　兒島直子
麹町區麹町七丁目廿番地　公爵夫人　近衛もと子
麹町區元園町一丁目二十三番地　小山田かち子
麹町區内幸町一丁目三番地胃腸病院　駒井まさ子
京橋區西紺屋町八番地　小林まつ子
麹町區下二番町二十九番地　近藤きく子

江ノ部

麹町區内幸町一丁目三番地胃腸病院　遠藤よし子

てノ部

小石川區駒井町二番地　手塚ふく子
神田區錦町三丁目鈴木方　寺田りつ子
小石川區母川町二十四番地　寺田恒子

あノ部

神田區袋町七番地　新井孝子
神田區表猿樂町六番地　青山かう子
神田區鈴木町二番地　天具さく子
麻布區簞笥町六十四番地　淺井梅香子
淺草區福井町一丁目六番地　青木すゞ子

本郷區森川町五十番地　秋山盼子
傳染病研究所　安西やす子
麹町區元平川町九番地　相原ひさ子
麻布區本村町八十七番地　鹽田操子
牛込區新小川町二丁目五番地　青戸さく子
芝區明舟町十九番地　淺野かま子
北多摩郡府中町　青木よし子
芝區三田松坂町三十四番地　阿部優子
本所區三笠町四番地　荒井多嘉子
牛込區天神町七十一番地　青木すみ子
京橋區南八丁堀一丁目二十八番地　綾井きん子
麹町區上六番町二十番地　足立清子
神田區南神保町十二番地　秋間たい子
神田區錦町鈴木方　朝倉ふみ子
南豊島郡淀渡町四百十五番地　粟屋武子
同　三百二番地　粟屋榮子

さノ部

下谷區茅町一丁目(地方部へ轉居)　佐野英子
京橋區築地二丁目二十番地(轉居不明)　澤邊れん子
四谷區鹽町一丁目三十番地　榊寶子
麻布區飯倉片町三十二番地　齋藤せん子
神田區北甲賀町十一番地　佐々木よし子
麻布區鳥居坂町九番地　實吉れん子
神田區錦町一丁目八番地　坂田末喜子
神田區錦町鈴木方　齋藤ます子
麹町區霞ヶ關　侯爵夫人　西郷清子
神田區錦町鈴木方　佐々木かく子
麹町區永田町二丁目一番地　阪本房子

麹町區平川町六丁目二十一番地　坂谷こさ子
麹町町區下二番町六十四番地　櫻井鎌子
芝區櫻川町六番地　澤　さよ子
芝區三田綱町十番地　齋藤春子
芝區高輪御殿內　佐々木順子
芝區櫻田和泉町九番地　佐藤歌子
牛込區細工町十一番地　澤村まさ子
下谷區仲徒士町一丁目二十七番地　齋藤まさ代子
本鄕區駒込二百三十二番地　佐藤梅峰子
本鄕區駒込二百三十二番地　鮫島みれ子
芝區車町三十五番地　佐藤靜子
本鄕區弓町二丁目二番地　齋田さき子
本鄕區湯島新花町九十八番地　佐藤らく子
赤坂區氷川町三十八番地　坂本房子
赤坂區氷川町三十六番地　相良濱子
麹町上六番町四十八番地　佐々遊喜子

きノ部

芝區城山町一番地　清浦さよ子
芝區城山町九番地　清水さし子
芝區櫻川町十二番地　岸　すみ子
芝區芝公園丸山下　子爵夫人　清岡かく子
本區鄕龍岡町　菊池たけ子
芝區白金台町一丁目七十三番地（地方轉居）　岸　美代子
本鄕區天神町三丁目十一番地　北川なを子
本鄕區弓町一丁目十四番地　菊池たつ子
芝公園八十四號ノ十四　木村ふみ子
牛込區市谷田町二丁目四十番地　木內磯路子
麹町區中六番町十四番地　北澤　菊子
麹町區中六番町十四番地　北澤　信子
小石川區表町五十六番地　木下つれ子
神田區錦町三丁目二番地　木下八重子
駒場農科大學官舍　喜多山つせ子
京橋區銀座三丁目十三番地　岸田　駒子
京橋區西紺屋町八番地　北野　龍子
京橋區西紺屋町八番地　木村たな子
牛込區砂土原町一丁目二番地　菊池みれ子

ゆノ部

芝公園十三號地ノ二　湯地　照子

みノ部

下谷區西黑門町十三番地　三田あさ子
芝區明舟町十九番地　三浦　銈子
芝區伊皿子町　三井　曉子
麹町區富士見町五丁目十番地　三井　晴子
麻布區龍土町五番地　三島わか子
神田區北甲賀町三番地　三浦　数子
小石川區水道町二番地　三井すて子
小石川區竹早町八十番地　三宅　藤子
小石川區竹早町八十二番地　三浦さめ子
本鄕區西片町十番地はノ十五號　府　なか子
芝區愛宕町二丁目北里病院　水上のふ子
仝　所　三崎千代子
仝　所　三堀千代子
麹町區飯田町三丁目十三番地　子爵夫人　三好うめ子
麹町區五番町二番地　三浦さき子
日本橋區村松町三十二番地　宮田　鶴子

日本橋區濱町二丁目十一番地　宮本いく子
神田區雉子町三十番地　宮本らく子
京橋區海軍大學校官舍　水谷まち子
京橋區南鍋町一丁目七番地　三島千代子
京橋區因幡町七番地　宮下咲子
麴町區虎ノ門東京女學館　宮川はな子

しノ部

神田區袋町十三番地　清水うめ子
芝區田村町十六番地　島崎たけ子
赤坂區青山南町二丁目二十六番地　逸見みち子
赤坂區青山南町二丁目四十七番地　志岐ひさ子
北豊島郡瀧ノ川村　鹿島いね子
麴町區六番町十二番地　進さし子
芝區城山町九番地　清水さし子
芝區愛宕町北里病院內　水上のぶ子
仝　所　久田あい子
麴町區下二番町七十二番地　塩田てる子
麴町區富士見町二丁目四十二番地　侯爵夫人　四條春子
麴町區永田町二丁目十八番地　白石萬子
麴町區一番町二十九番地　白井きん子
芝區新堀町三十一番地　下村ちさ子
芝區二本榎町三十五番地　塩濱孚子
芝區車町二十四番地　神宮司富子
芝區巴町三十四番地　篠原さだ子
京橋區木挽町二丁目十三番地佐藤方　白神しげ子

ひノ部

麴町區下二番町六十九番地　日高りき子

麴町區三番町十二番地　伯爵夫人　廣瀬りき子
小石川區林町六十二番地　土方龜子
芝區榮町十三番地　伯爵夫人　久松貞子
麴町區飯田町六丁目十九番地　弘田釜子
日本橋區住吉町二十二番地　樋口八重子
芝區愛宕町二丁目北里病院　久田あい子

もノ部

赤坂區青山南町五丁目五十番地　本尾しげ子
京橋區南小田原町四丁目一番地　森岡きみ子
牛込區赤城下町二十二番地　森しん子
牛込區上宮比町五番地　森安かた子
本郷區湯島六丁目十番地順天堂病院　森けい子
赤坂區青山南町六丁目百三番地　森ひろ子
芝區兼房町十番地　森やそ子
日本橋區濱町二丁目四番地　森川かめ子

せノ部

四谷區鮫ヶ橋南町八十八番地　千田米子
下谷區第二醫院　關てい子
神田區小川町四十番地賀古氏方　千合もさ子
麻布區一本松二十二番地　關むら子

すノ部

牛込區矢來町八番地　鈴木よし江子
神田區北神保町八番地　鈴木みち子
芝區榮町十三番地　菅豊子
芝區三田小山町一番地　杉いそ子
麻布區材木町六十三番地　鈴木てる子
小石川區久堅町一丁目二番地　杉浦久稲猪子

芝區北里病院内
麹町區飯田町二丁目五十三番地
京橋區西紺屋町八番地
小石川區春日町四十九番地
赤坂區青山北町四丁目六十八番地
本郷區元町二丁目四十七番地秋間方
下谷區竹町二番地
本所區柳島町廿六番地
南葛飾郡寺島村元寺島千七百五十八番地
新吉原角町二十番地
神田區鍋町三丁目二番地

鈴木たか子
鈴木信子
駿河翠子
須田いそ子
鈴木八重子
杉山ます子
須田すゞ子
鈴木喜代子
須藤鳳子
杉浦かう子
鈴木まさ子

本郷第一醫院

伊藤みち子
野口きへ子
粂ふみ子
森もと子
澁谷儀子
遠藤さし子
木下きく子
鎌形きく子
大石かう子
双木せう子

代さめ子
木村いわ子
杉本もと子
佐藤さだ子
佐藤てる子
廣澤春子
岸もと子
堀たか子
堤かく子

日本赤十字社病院

池上なを子
石川せう子

井上松枝子
石田たかよ子

石川たき子
岩本利子
石井なか子
萩原たけ子
服部たま子
西島みれ子
星子ひろ子
小川ふゆ子
大野縫子
越智つれ子
渡邊つさ子
鹽谷ため子
桂幾代子
金田たま子
加藤つぎ子
高瀨ゆき子
高塚せつ子
津田みさを子
村松ふさ子
海津ささ子
野田やす子
安岡貞枝子
山端靜惠子
松永常子
松本こさ子
藤谷錠子
枝原つる子
佐藤楢子
岸たま子

岩井千代子
磯部くに子
石黒よし子
早野ひさ子
萩谷烈子
星野芳子
富山せい子
大津やま子
尾上けい子
渡邊きゑ子
和田清子
金須かめ代子
桂ゆき子
片岡ふじ子
吉本いわ子
丹上みな子
瀧猷子
中島さみ子
内田せい子
宇佐美きち子
黒川きし子
矢田やす子
松田さめ子
前原せい子
松永さし子
後藤さら子
酒井錦子
佐伯音羽子
北澤きく子

宮地こま子　水野けい子
岡きよ子　秀島はつ子
樋口隆子　鈴木つる子
腿けい子　鈴木くら子
杉江秀子　菅沼きん子

◎地方賛成員

新潟縣中蒲原郡大淵村大字西野　伊藤房吉君
秋田縣羽後國平鹿郡横手町大町上町　富田新助君
美濃國揖斐郡大野村　大久保百次君
栃木縣河内郡姿川大字鶴谷五番地　坪山平馬君
伊勢國津市北堀端　中里格助君
石川縣金澤市石坂與力町三十二番地　中村順次君
岐阜縣美濃國本巣郡長瀬村　村瀬清直君
静岡縣静岡市師範學校　梅村甚太郎君
三重縣津市西町卅三番地　野口安次君
福井縣武生町武生病院　濱田宗太郎君
岡山縣淺谷郡敷町三百五十五番邸　山川春二君
伊勢國立町　山内義順君
新潟縣中蒲原郡沼垂町　八木三七君
北豊島郡中新井村杉山方　布施正顯君
伊勢國津市玉置町　朝川順三君
京都市烏丸通土長者町角　佐伯理一郎君
相州厚木町　齋藤正兵衛君

◎地方會員

山形縣西村山郡新宿村　終身會員　今井政乃子

秋田縣仙北郡生保内村　伊藤てつ子
北豊島郡王子村大字下十條千二百二十六番地　石原坂子
神奈川縣横須賀逸見三十三番地　石田たけ子
愛媛縣溫泉郡桑原村大字正圓寺　石原麟子
丹波國何鹿郡吉美村　猪間乃え子
和歌山縣小松原通三丁目六番地　石井ふみ子
臺灣臺北砲兵工廠內　今村いさ子
山形市旅籠町新築字褒河江町一號　岩崎こく子
岐阜縣岐阜市東问町三十七番地　岩村玉子
肥前國佐世保八百五十八番地　石黒よし子
京都市南禪寺町二番戸　特別會員　長谷川仲子
廣島市段原村四十六番地　早川倉子
北海道札幌幼稚園　西川かめ子
長野縣更級郡岡田小學校　西村ひで子
横濱市伊勢町一丁目八番地　西川ふみ子
山形縣西村山郡西里村六百十九番地　常世千代子
神戸市神戸女學校　後野岩子
紀伊國尾鷲町三百五十二番地　土井つるの子
三重縣北牟婁郡尾鷲町大字南浦　土井早苗子
大坂市西區立賣堀北通六丁目　岡田みそ子
筑前國嘉麻郡綠田炭坑　大木珠子
福島縣安達郡本宮町五十二番地　大内はる子
新潟縣北蒲原郡仲條町百三十四番地　小野芳美子
廣島縣幟町百二十一番地次一番邸　奥山乙女子
長野縣下伊那郡飯田町　小澤愼子
埼玉縣秩父郡名栗村名栗五十八番地　岡部小春子
長崎縣西彼杵郡高島炭坑　大木珠子
大坂市東區本町一丁目四十番邸產婆　大澤ゆき子
肥前國東彼杵郡佐世保字市場　小田松子

福岡縣豊前國企救郡小倉魚町一丁目二十番地　丘邑喜代子
山梨縣北都留郡上野原村　岡部やまち子
神奈川縣小田原新玉町三丁目四百九十二番地　長田てう子
山形縣山形市旅籠町字澁河江町二百三十五番地　沖野柳子
靜岡縣靜岡市安西四丁目四十五番地築地別宅　大島織兒子
北海道函館大町三十七番地　太田ゑみ子
長野市長野病院日本赤十字社看護婦養成所　土藤はま子
仝所　兒玉きく子
仝所　久保田ちか子
仝所　松村ゆきゑ子
仝所　土屋よね子
仝所　礒田ふん子
仝所　小澤うた子
横濱市元濱一丁目一番地　渡邊玉子
神戸市山本通五丁目七十九番地　和久山きそ子
北海道函館會所町二十番地　渡邊なつ子
新潟縣南蒲原郡加茂町剛雄平方　渡邊すが子
清國上海楊子江正金銀行出張所内　西巻都兒子
埼玉縣北葛飾郡櫻田村字八甫　渡邊うら子
神戸市下山手通七丁目親和女學校　綿谷禮利子
出雲國松江市内中原百三十二番地　河村孝子
山梨縣東八代郡石和仲町二百九番地　鹿兒島きく子
群馬縣桐生町二丁目二百六十八番地　加藤さら子
神奈川縣三浦郡字中里　勝田久米子
相州横須賀中里二百九番地　加茂東美子
宮城縣陸前國志田郡古川町片倉病院江口文一郎方　紙子きみ子
秋田縣羽後國平鹿郡角間川二百六番地　綠田德子
三重縣日本赤十字社支部　川村しさ子
相州藤澤大坂町綱廉問屋　梶たき子

岐阜縣岐阜市縣立病院　笠井ふみ子
岐阜縣々立病院内　吉安のぶ子
長野縣東筑摩郡島立村百八十五番地　横内いわ子
群馬縣山田郡桐生町六丁目　吉田和歌子
福島縣安達郡二本松町本町　丹野よし子
北海道函館會所町五十一番地　田澤みつ子
神奈川縣東浦賀町七十番地大ヶ谷　田尻知子
富山縣富山市西四ヶ物町廿三番地　高木操子
北海道札幌大通西八ノ一札幌美成病院　竹中もさ子
長崎縣南松浦郡福江村五百三十四番戸　吉富しも子
和歌山市北田邊町六十五番地　立石靜子
群馬縣群馬郡箕輪村大字西明屋村百五十五番地　田中のぶ子
横須賀子ノ神山官舍　辰巳富理子
福岡縣三池郡大牟田町大字下里千百六十五番地　武田政子
相州東浦賀須崎町三十六番地　田中梅子
岐阜縣山縣郡谷合村百十八番戸　高原じやう子
神奈川縣大綱山　終身會員　高嶋くら子
兵庫縣神戸市下山手通八丁目十六番地　曾根愼子
秋田縣平鹿郡舘合村宮山　土田てい子
名古屋市南鍛冶町三丁目百卅九番地　鶴田梅子
北海道札幌區南二條西六丁目十四番地　根岸八重子
相摸國横須賀中里百七十七番地　中島鉄子
岐阜縣岐阜市縣立病院　中嶋いの子
清國上海横濱正金銀行内　中村久頁子
香港横濱正金銀行支店内　長尾せい子
仙臺市片平町二番地宮城支部看護婦養成所　中山はるゑ子
神戸市横濱正金銀行支店　鍋倉梅子
大坂市西區江戸堀北通四丁目三十九番屋敷　中橋ゑつ子
千葉縣長狹郡吉尾村北風原九百一番地　永井くに子

山梨縣甲府市春日町三十三番戸　内藤種子
栃木縣河内郡宇都宮馬場町四十番地　中山きく子
神奈川縣三浦郡豊島村中里稲荷谷戸百四十二番地　中溝辰子
相州三浦郡逗子九百六十九番地　内田芳子
筑前國鞍手郡勝野炭坑　内野春枝子
岐阜縣々立病院内　武藤しん子
山梨縣甲府市春日町三十三番戸　武藏常子
京都上京區塔之段比沙門町　特別會員　村岡ひさの子
廣島縣與片山田村千〇七番次廿八　宇敷かつ子
下野國塩谷郡塩原村大字下塩原三十七番地　臼井ます子
神奈川縣愛甲郡愛川村字中原　宇野奈加子
岡山縣兒島郡味野村六十八番邸　野崎陸子
高知縣帶屋町町田且藏方　野並三穂子
愛知縣名古屋區三ツ藏町八十番戸　熊谷ゆき子
山形縣山形市旅籠町新築二百七十五番地　國井よしな子
廣島縣廣島市鐵砲町山中正雄方　日下恒子
安房國長狭郡鴨川町前原十三番地第二號　安田こう子
長野縣長野市縣町四十六番地　安田小鹿子
福島縣遠賀郡八幡村字尾倉　安永薫子
神奈川縣三浦郡豊島村中里二百九番地　山崎ふじ子
横須賀稲岡二十三號官舎　山口靜子
伊勢國津市病院赤十字社支部養成所　安岡やすゑ子
大坂三軒屋町紡績會社前　終身會員　山邊さだ子
筑前國嘉穂郡鯰町炭坑　松田すゑ子
靜岡縣富士郡加島村平垣　松永くに子
大坂南區千年町番外二屋敷　松谷あい子
長崎市引地町十八番戸　毎熊かめ子
神戸山本通五丁目七十九番地　前川てる子
愛知縣春日井郡中小田井村　終身會員　松澤たつ子

羽前國南村山郡上ノ山町鶴脛町五百三十二番地　松下貞子
北海道函館船見町五十八番地　深瀬たか子
朝鮮國京城贊化病院　古城貞子
臺灣臺北縣兵器修理所内小八木氏方　藤崎さらへ子
北海道函館會所町五十一番地　藤野さく子
北海道箱舘惠比須町七番地　藤野くら子
山形市旅籠町五百七十一番地　後藤まき子
靜岡市大手町五番地鈴木方　河野かつ子
長野縣々立長野病院　小林しよ子
横濱十全病院　小泉りう子
新潟縣中蒲原郡横越村　小林かく子
相洲藤澤大坂町宮坂戸町　寺田愛子
横濱市伊勢町知事官舎内　淺田みれ子
後志國古志郡長岡町長岡病院　渥見かな子
長野市々立長野病院赤十字社看護夫養成所　蘆澤きくの子
筑前鞍手郡神勝野炭坑　特別會員　安達芳子
安藝國和庄町二千〇十一番次二番地　淺野かま子
福島縣福島町南裏二丁目六番地　荒川梅子
北多摩郡府中町　青木よし子
筑前國嘉穂郡大谷村目尾炭坑　佐藤すみ子
愛知縣丹羽郡太田村　佐野英子
野州那須郡烏山町黒須地精方　佐藤うめ子
相州横須賀鎮守府長官舎　鮫島峰子
山形縣西村山郡出居村大字吉川　笹島やゑ子
美濃國本巣郡東根尾村字東板屋　北野靜枝子
北海道札幌區大通四三丁目十番地　木田たつ子
山形市旅籠町六百三十番地　北川さだ子
大和國生駒郡法隆寺前　終身會員　北島三枝子
北海道函館汐見町十九番地　北代こう子

横濱十全病院　湯淺正代子
埼玉縣浦和師範學校內　油井ながゑ子　終身會員
栃木縣下都賀郡栃木町　峰岸政之子
岩城國信夫郡福島町　白澤彌與司子
栃木縣下野國鹽谷郡鹽原村　白井ますゑ子
長崎縣東彼杵郡西大村字西小路　清水すみ子
房州北條町木村屋別莊　清水富喜子
新潟縣北蒲原郡米倉村　下妻いせ子
新潟縣北蒲原郡金塚村大字金子　白務つて子
新潟縣中蒲原郡橋田尋常高等小學校　島津いし子
山形縣西村口郡寛河江町　清水てい子
大坂北區曾根崎千六百廿三番邸　久德きよ子
京都市下京區三條通白川東筋三丁目定法寺町　久原あき子
茨城縣眞壁郡字西町猪瀬錠吉方　秀島千代子
三河國岡崎町大字康生　七十七番地　森琴子
横濱市福富町二丁目六十七番地　木島鐵子
埼玉縣入間郡宮寺村四十番地　本橋よし子
奈良縣奈良市北室町七番邸ノ二　關野小枝子
神奈川縣鎌倉郡鎌倉町小町　關鶴子
伊勢國一志郡豊地村字下之庄　杉原せい子

新潟支會會員姓名

役員

會長　勝間田千代子
副會長　安原なみ子
幹事　鍵富孝子
仝　中村しげ子
幹事　古關初瀨子
評議員　池原きん子
仝　保倉せい子
仝　和田しげ子
仝　神尾つや子
仝　竹山れつ子
仝　高橋忠子
仝　中村きん子
仝　小柴きく子
仝　水野さら子
仝　清水くり子

賛成員（講師）

醫學士　池原康造君
仝　長谷川寛治君
長谷川一詮君
醫學士　若杉喜三郎君
田代究助君
高橋辰五郎君
中村勇三郎君
長井千郡君
黒岩福三郎君
清洲豐太郎君
醫學士　水野欽君

終身會員

新潟市警所通り　勝間田千代子
仝　上大川前通り　鍵富せつ子

新潟市學校町二番丁　鍵富孝子
仝　上大川前通り　八木松代子
仝　東仲通り　古閑初瀬子

特別會員

新潟市衍居町　池原きん子
仝　古町八番町　石黒しゐ子
仝　東仲通り　長谷川やす子
仝　營所通り　床次き代子
仝　學校町二番町　和辻あい子
仝　營所通り　和田しげ子
仝　營所通り　加藤孝子
仝　上大川前通り　竹山れつ子
仝　下旭町　沼野昌江子
仝　本町通十三番町　中村しげ子
仝　西堀九番町　中村きん子
仝　上旭町　安原なみ子
仝　下旭町　山下ゑつ子
仝　上旭町　小柴きく子
仝　上大川前通り　鍵富さき子
仝　白山前　仝　かう子
仝　上旭町　水野さら子
仝　上旭町一番町　松本正木子

通常會員

新潟市學校町　長谷川しづ子
仝　仝　渡邊ちよ子
仝　仝　曾木小美子
仝　仝　田中さし子

新潟市學校町　内山[illegible]子
仝　仝　内田きし子
仝　仝　坂本いち子
仝　仝　神尾つや子
仝　仝　小室乃榮子
仝　仝　岡田しげ子
仝　仝　橋本けん子
仝　仝　藤田はな子
仝　醫學町　佐竹あい子
仝　仝　田村みち子
仝　仝　宮澤たい子
仝　白山浦町　小塚もさ子
仝　東横堀　内田ささ子
仝　上旭町　河上ふさ子
仝　仝　保倉せい子
仝　仝　澤田さも子
仝　仝　今井あみ子
仝　仝　岩淵せい子
仝　仝　片桐つぐ子
仝　仝　吉村き代子
仝　學校町二番町　岡本しげ子
仝　醫學町二番町營通り　佐竹あい子
仝　所　加藤孝子
仝　仝　長野むら子
仝　仝　北條きく子
仝　仝　小島こま子
仝　仝　小串ふじ子
仝　仝　宮こう子
仝　仝　部樂すが子

新潟市醫學町二番町營通り　清洲さみ子
仝　仝　中野悦子
仝　仝　小林ゑい子
仝　仝　町田こさ子
仝　仝　高田せん子
仝　下旭町　小藪さだ子
仝　仝　木村ぎん子
仝　仝　吉田き代子
仝　仝　高橋なみ子
仝　白山前　鈴木きよ子
仝　營所通り　岡部きく子
仝　仝　大和田かつ子
仝　仝　金子きい子
仝　仝　土田とめじ子
仝　仝　小村あき子
仝　寄居町　高橋ただ子
仝　仝　佐藤せき子
仝　仝　樋口いく子
仝　仝　高野きい子
仝　仝　日野すま子
仝　西大畑通　金井染子
仝　仝　吉井さら子
仝　仝　坂口あさ子
仝　東堀前通　安宅ふじ子
仝　堀通三番町　長井さと子
仝　仝　石高いし子
仝　仝　黒田むつ子
仝　仝　四番町　丸山のぶ子
仝　仝　石井しま子

新潟市西堀通五番丁　工藤せい子
仝　仝　六番丁　勝俣やほ子
仝　仝　七番丁　齋藤玉子
仝　仝　五番丁　長谷川順子
仝　仝　八番丁　清水さよ子
仝　仝　十番丁　多賀ろく子
仝　仝　高橋貞子
仝　仝　羽田かれ子
仝　仝　本間れい子
仝　仝　九番丁　鳥取あい子
仝　仝　寺裏通り　磯邊よし子
仝　東堀通り七番丁　松本まさ子
仝　仝　齋藤こう子
仝　古町五番丁　仝らく子
仝　仝　六番丁　山崎いき子
仝　仝　荒川てい子
仝　仝　會津やす子
仝　本町通り五番丁　大井榮の子
仝　仝　八番丁　大塚ます子
仝　仝　中谷つる子
仝　仝　九番丁　白勢はな子
仝　仝　佐藤みち子
仝　仝　田邊りん子
仝　仝　小林せい子
仝　仝　十二番丁　北川みい子
仝　上大川前通九番町　田代こふ子
仝　仝　四番丁　淺井つま子
仝　仝　五番丁　江部貞子
仝　仝　中山さう子

新潟市上大河前通五番町　青山つれ子
仝　八番丁　松浦久子
仝　仝　仝こう子
仝　七番丁　小山せい子
仝　仝　若杉きく子
仝　九番丁　松尾ます子
仝　仝　鈴木さめ子
仝　仝　仝つれ子
仝　仝　小川さり子
仝　十番丁　富岡つわ子
仝　仝　藤田りた子
仝　十三番丁　小澤ぬい子
仝　株川岸　弁田み代子
仝　仝　仝きく子
仝　礎町二ノ丁　南たきの子
仝　六ノ丁　清水くり子
仝　月町　木下てつ子
仝　上大川前通り　齋藤きい子
仝　新潟病院内　伊地知つろ子
仝　仝　竹内いし子
仝　仝　竹内せつ子
仝　仝　高橋花子
仝　仝　渡邉きよの子
仝　産婆學校内　征川みす子
仝　仝　小柳ちい子
仝　仝　村山のぶ子
仝　仝　松村梅野子
新潟縣中蒲原郡曾ノ木村舍子ヶ作　田代むつ子
仝　中蒲原郡沼垂町　野崎のぶ子

新潟縣南蒲原郡新發田　関口げん子
新潟市上旭町一番町　宮こう子
仝　下旭町　小藪さだ子
仝　學校町二番町　藤田花子
仝　仝　鈴木きよ子
仝　旭町通一番町　大橋さめ子
仝　上旭町一番町　小串さだ子

◎支會員

新潟市上大川前通四番丁　竹山たつ子
仝　住吉町　清水てい子
仝　仝　仝なみ子
仝　礎町二ノ町　南むれ子
仝　上大川前通り　小山さき子
仝　白山浦町　神林むつ子
仝　高橋病院内　本間かの子
仝　仝　唐津ちよ子
仝　仝　山賀しづ子
仝　仝　山元いつ子
仝　仝　佐藤すへ子
仝　仝　同たい子
仝　仝　宮川千代子

◎千葉支會々員

千葉縣千葉町　幹事　高梨みつ子
佐倉町　小川なみ子
千葉町吾妻町　太田ちよう子
仝　通町　浅井けい子

仝 本所　飛田てる子
仝 町　長尾ゑん子
仝 長州　石橋てつ子
東京麻布新網町一丁目五十一番地　三村ひさ子
佐倉町順天堂病院内　佐藤はつ子
香取郡古城村萬力　清水いせ子
印彌富村七曲　粟飯原ふゆ子
千葉町旭町　越智ゆき子
仝 仝　若森よれ子
仝 仝　入野さよ子
仝 吾妻町　紅谷ゑつ子
仝 本町　江川かね子
仝 仝　犬野くめ子
東京虎之門外女學舘内　岩上りう子
千葉町旭町　峰島てい子
仝 吾妻町　鈴木たい子
仝 仝　鈴木みよ子
仝 横丁　柴田ひさ子
北海道札幌北二條西六丁目二番地小林南八内　小林くみ子
千葉町長州　日比まつ子
仝 旭町　香取ひで子
仝 旭町　増子たよ子
仝 市場　紅谷なほ子
仝 旭町　落合あい子
仝 仝　川崎ゆう子
仝 新地　藤川雅子
仝 長州　神　兼子
仝 新田　鈴木さよ子
仝 市場　中西つる子
千葉町市場　島田てい子
千葉町長州　阿部りう子

大日本婦人衛生會會員數調

明治三十二年三月二十日現在

總會員數　千〇七十八人

内譯

府下終身會員	二十三人
仝 賛成員	五十五人
仝 特別會員	二十四人
仝 通常會員	六百〇五人
地方會員	百六十三人
新潟支會會員	百七十三人
千葉支會々員	三十五人

以上

● 私立大日本婦人衛生會規則摘要

一本會の目的は汎く婦女子をして人生の健康を保持する方法を講究し衛生上の智識を開發せしめ隨て社會全般の幸福を增進するにあり

一會員たらんと欲する婦人は何人にても入會することを得

一入會の節は姓名族籍住所及會員の種類を明記し本會事務所に申込むべし入會者には會員證を交付す入會後轉居等あるときは速に事務所に報知すべし

一會員を分ちて終身特別及通常の三種とす

終身會員は一時に金拾圓以上特別會員は一ヶ月金貳拾錢以上通常會員は一ヶ月金拾錢を納むるものとし學生其他事故ある者は減額して金七錢を納むるものとす

一男子にして本會の旨趣を贊成する者は之を贊成員とす其會費は本會員に同じと雖も本會に功勞あるもの又は本會に於て特に贊成員たることを望みたる者は役員の協議に依り無會費とすることあるべし

一會員は本會に於て每月發行する雜誌を無料にて受ることを得

一退會せんとする者は會員證を添へ本會事務所に報知すべし死亡する時は親戚知友より通知すべし

一集會は例會總會及評議員會とす集會は八九月を除くの外每月一回とし通常第一土曜日午后一時より開會するものとす

但每會學識經驗ある者に衛生上の講義演說談話を囑託し會員をして隨意聽講せしむるものとす

一會員は家族の婦女若くは知已の婦人を本會々場に誘致し講義演說等を陪聽せしむるを得

一講義演說等は男子の傍聽を禁す但贊成員若くは會員に緣故ある男子は此限にあらすと雖も本會の都合に由り臨時謝絕することあるべし

一會費金は受領證を交付すべしと雖も地方會員にして小爲替又は郵券にて納むるものは受領證送費として別に郵券二錢を添へらるべし然らざれば受領證を送付せす

一會費は郵便小爲替にて本會事務所在の郵便取扱所へ振出しあるべし

但止むを得さる場合には郵券を代用するも妨げなしと雖も總て一割增とす

● 支會

一地方に於て本會々員十名以上發起者あるときは其規則を定め本會長の承認を受け支會を設立することを得

廣告料		
一頁	金二圓	總て前金とし割引せず
半頁	金一圓	
一行	金六錢五厘	

本誌定價 壹部 金拾錢 每月一回發行

東京四谷區仲町三丁目廿三番地
發行所 大日本私立婦人衛生會

東京牛込區矢來町三番地
編輯兼發行者 田中德三郎

牛込區通寺町三十八番地
印刷者 大貫弘

神田區旅籠町二丁目十一番地
印刷所 廣業館

（明治二十六年四月四日）遞信省認可）

（明治二十一年二月二十八日内務省許可）